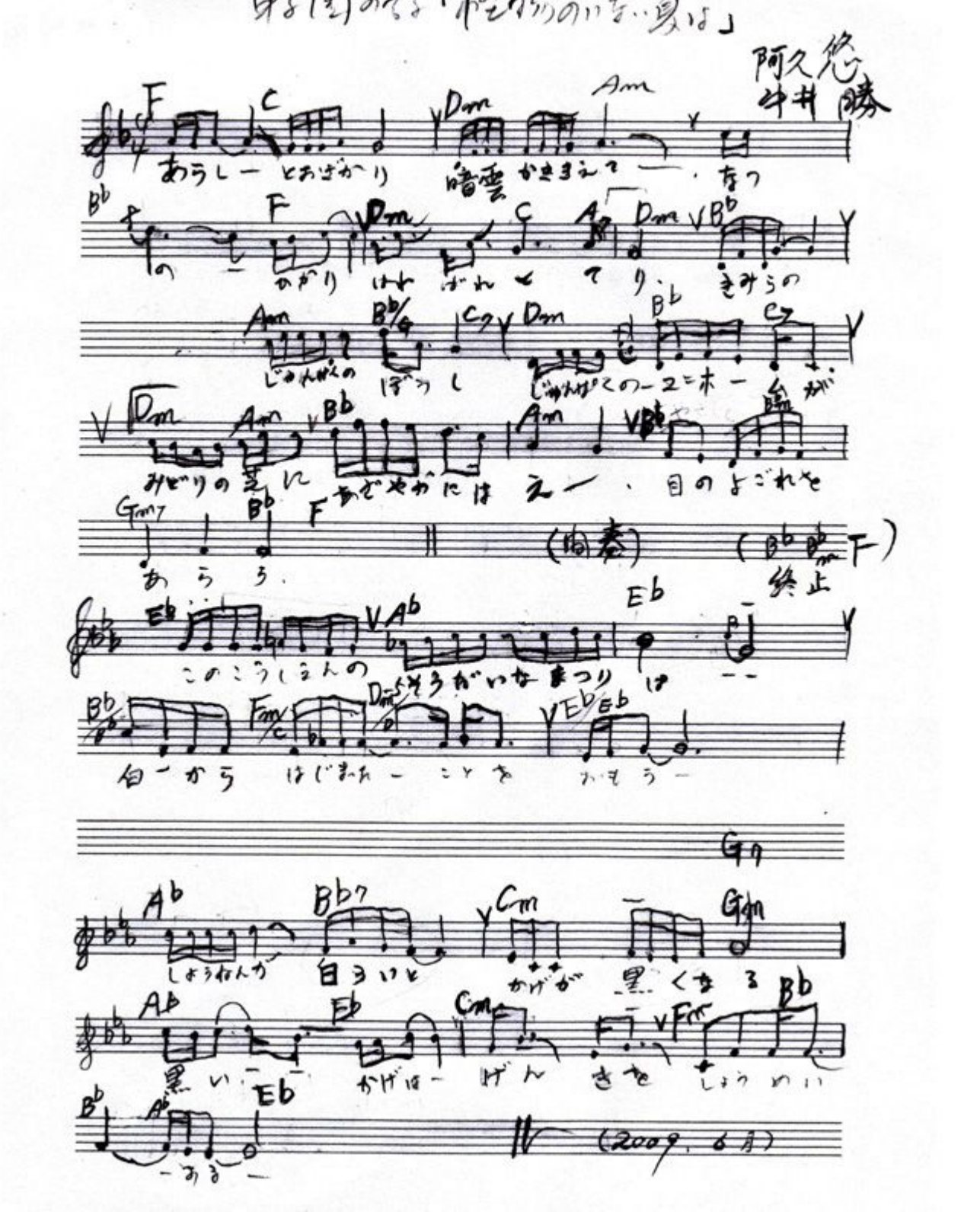
甲子園をめざして……

周防大島高校野球部監督
新　山　晴　久

平成十二年、五十二期卒）

夏のひかり晴れ晴れと照りきみらの帽子　純白のユニホームが　緑の芝にあざやかに映え目の汚れを洗う……この詩は、平成十一年夏（故）　阿久　悠氏が、私たちの甲子園出場に対して送られた詩の一節です。

本校野球部は、二校舎体制の中、様々なハンディを受け、現在部員が十八名ですが、少数精鋭で、先輩たちが築いてこられた久賀高野球部の伝統を引き継ぎ、再度甲子園を目ざして特訓中です。……甲子園の壮大な祭りは　白から始まったことをいまさらのように思う　少年が白いと影が濃くなる　黒い影は元気を証明する。この詩をかみ締めながら、スタッフ一同も、自校の勝利は当然ながら、様々な工夫を凝らし、高校野球界の発展に貢献できるよう、日々勉強を怠らず参る所存でありますので、今後ますますのご声援・ご指導・ご鞭撻をいただければと思っております。



★阿久悠さん直筆の詩は、周防大島高校久賀校舎・校長室に飾られています。